

強み・競争優位性

あすか製薬ホールディングスは、「先端の創薬を通じて人々の健康と明日の社会に貢献する」という経営理念のもと、「医療用医薬品事業」を中核に「アニマルヘルス事業」、「検査事業」など医療関連ビジネスを通じて、社会から信頼される会社として成長・発展していきたいと考えています。

当社グループが創立当初から培ってきたホルモンに関するノウハウを活用して、医薬品の研究開発に取り組んでおり、「女性のヘルスケア」「内分泌ホルモン」に強みがあります。もともと人に使用していた医薬品を動物用に転用するなど、「アニマルヘルス」にて当社独自のシナジー効果を発揮しています。また、「微量検体検査」の技術も私たちの強みであり、それぞれが「ホルモン」という基盤のうえで事業を展開しています。



1 女性のヘルスケア

▶詳細は P.39-44

あすか製薬は、女性のライフステージにあわせてさまざまな課題にアプローチしています。月経困難症や避妊、子宮筋腫・子宮内膜症、不妊症、周産期疾患、更年期障害など、多種多様な医薬品を揃えるとともに、医薬品の周辺領域への取り組みとしてフェムテックを推進することで女性の健康や生活をサポートしています。

近年、女性の社会進出が進み、女性特有の健康・病気に関する悩みが多様化・顕在化してきています。あすか

製薬は、さまざまなニーズに応える女性医療のリーディングカンパニーとして、国内外の企業との連携を通じたオープンイノベーションの推進により、革新的な新薬を提供していきます。また、医薬品を供給する一方で、健康の維持や病気と向き合うために必要な情報を「女性のための健康ラボMint⁺」を通じて発信しており、多面的に、女性が健やかに生きるための選択の機会を提供しています。

2 内分泌ホルモン

▶詳細は P.39-44

1920年に創立したあすか製薬は、動物の臓器から医薬品をつくる独自の発想でホルモン製剤の開発に従事してきました。ホルモン製剤のパイオニアとして、甲状腺領

域では「チラーゼン」を中心に国内シェア9割以上を占めています。あすか製薬は甲状腺領域のリーディングカンパニーとして多様な医療ニーズに対応してきました。

3 アニマルヘルス

▶詳細は P.45-46

動物の健康と食の安全を守ることにより、人と動物が共生できる社会づくりに貢献しています。動物用医薬品と飼料添加物の2本柱で事業展開しており、動物の生

命・健康に貢献する企業として畜産領域およびコンパニオンアニマル領域に強みを持ちます。

4 微量検体検査

▶詳細は P.47-48

最新の測定技術を通して豊かな健康社会づくりに貢献しています。これまで培ってきた高度な技術と豊富なノウハウを活かし、ステロイドホルモンをはじめとする生理

活性物質の測定を中心に、基礎研究、臨床研究、診断などの幅広い分野で強みを持っています。

5 人的資本

▶詳細は P.53-58

最も重要な財産は人材であるという考えのもと、従業員が持つスキルや能力などを人的資本と捉え、その最大化を通じた価値創造へとつなげます。

人的資本の最大化については、中期経営計画2025の実現に向けた土台固めのための「7つの戦略」の一つとし

て「成長戦略を実現するための人材育成」を掲げ、各組織の専門性と想像力を高めるべく、グループを挙げて「新規事業や環境変化に対応できる人材育成・獲得」と「女性やキャリア、シニアなど多様な人材が活躍できる環境づくり」を目標に人材育成に取り組んでいます。

ウェルビーイングの実現

ワークエンゲージメント(偏差値) 2021年度 **53.7** → 2023年度 **54.3**

※ 調査委託先のワークエンゲージメント調査導入企業・団体など81社で構成する偏差値で表記